

<病床転換の概要>**# 許可病床数 168床**

- ・一般 108床 (急性期 84床、回復期 24床)
- ・療養 60床

**# 許可病床数 168床**

- ・一般 122床 (急性期 84床、回復期 38床)
- ・療養 46床

4. 地域医療構想への貢献

公立病院に求められる使命（新興感染症対策等・機能分化）を果たすために

- ・新興感染症や大規模災害等の緊急時、公立病院としての使命を果たすために平時から体制を整備。
- ・県央圏域は、元々医療資源が不足している上に、高齢化が続いていくため、在宅医療患者の急変時を含む救急患者の受け入れ体制の拡充が求められている。
- ・本区域は、相模川を挟み東西で大きく地域性が異なるが、中でも最東部にある大和市は流入人口が多く、将来にわたって高齢者の増加が見込まれることから、基幹病院としての役割を果たせる体制を整えたい。

当初案
2021.12

地域包括ケア病棟（回復期）から急性期一般病床への転換

回復期病床 △51床 / 急性期病床 +51床

- ・湘南東部区域等他の構想区域では、高い診療報酬を得ている病棟を高度急性期としてカウント。
→ 他圏域病院の事例を参考にすると、本院では既存の急性期病棟（2～3病棟）を高度急性期への転換が可能

今回提案

回復期病床及び急性期病床を削減し、不足する高度急性期病床への転換

回復期病床 △51床・急性期病床 △50～90程度 / 高度急性期 +100～140程度

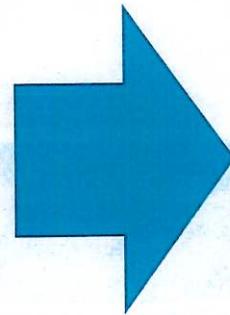
- ・これにより、不足している高度急性期病床の増床及び過剰な急性期病床の減床に資することができます。

大和市立病院は、これからも地域医療支援病院、救急告示病院、災害拠点病院、小児・周産期の拠点、がん診療連携拠点病院として、機能分化を推進し、地域における基幹病院としての使命を果たしていきます。

許可病床の状況と変更後

**【地域包括ケア病床24床と回復期リハビリ病床8床を組合せて
障害者病棟32床に病床機能変更】**

【現 状】	
一 般 病 床	170床
回復期リハビリ病床	59床
地域包括ケア病床	24床
合 計	253床



【変更後】	
一 般 病 床	170床
回復期リハビリ病床	51床
障害者病床 <small>【障害者施設等入院基本料10対1】</small>	32床
合 計	253床